

検定スタート地点

江古田児童館

江古田児童館の建物は約30年前（1974年・昭和49年10月）に建てられました。

*「江古田児童館」はもともとアポロ園に約40年前（1967年・昭和42年8月）にできました

壁面のモザイク画をよく観ること（検定に関係あり）

*星座の壁画はしし座、おおぐま座・こぐま座・竜座・白鳥座・琴座・ペガサス座など夏の北の空の代表的な星座を現しています。（大熊座の北斗七星をたどると・・・！北極星は小熊の尻尾にあります。）

*屋根にロケットのようなものが出ているので、シンボルマークがロケットです。



1、下徳田橋



- * 橋は「下徳殿」信号は「下徳田」なぜかな？ どっちかな？
 - * 「徳川の殿様から忍者（伊賀）がいただいた土地だから」
 - * 「徳川家の支配地だった田んぼだから」
 - * 「沼袋村からもらって得した田んぼだから」
 - * もともとは徳殿だが、バス会社が停留所になが間違っつけた？
 - * 江戸時代の地図には「どくでん」とひらがなでかいてあったり、徳田、徳殿と両方あります。

* この先の徳殿の浄風教会で昭和33年(1958年)の第三回アジア大会の聖火リレーの引継ぎがおこなわれました。

- * この区間の中野区の走者は江古田小学校の伊東静男先生が走ったそうです。
- * 昭和33年のアジア大会の開催の成功が、東京オリンピック昭和39年(1964年)の開催の決め手になりました。



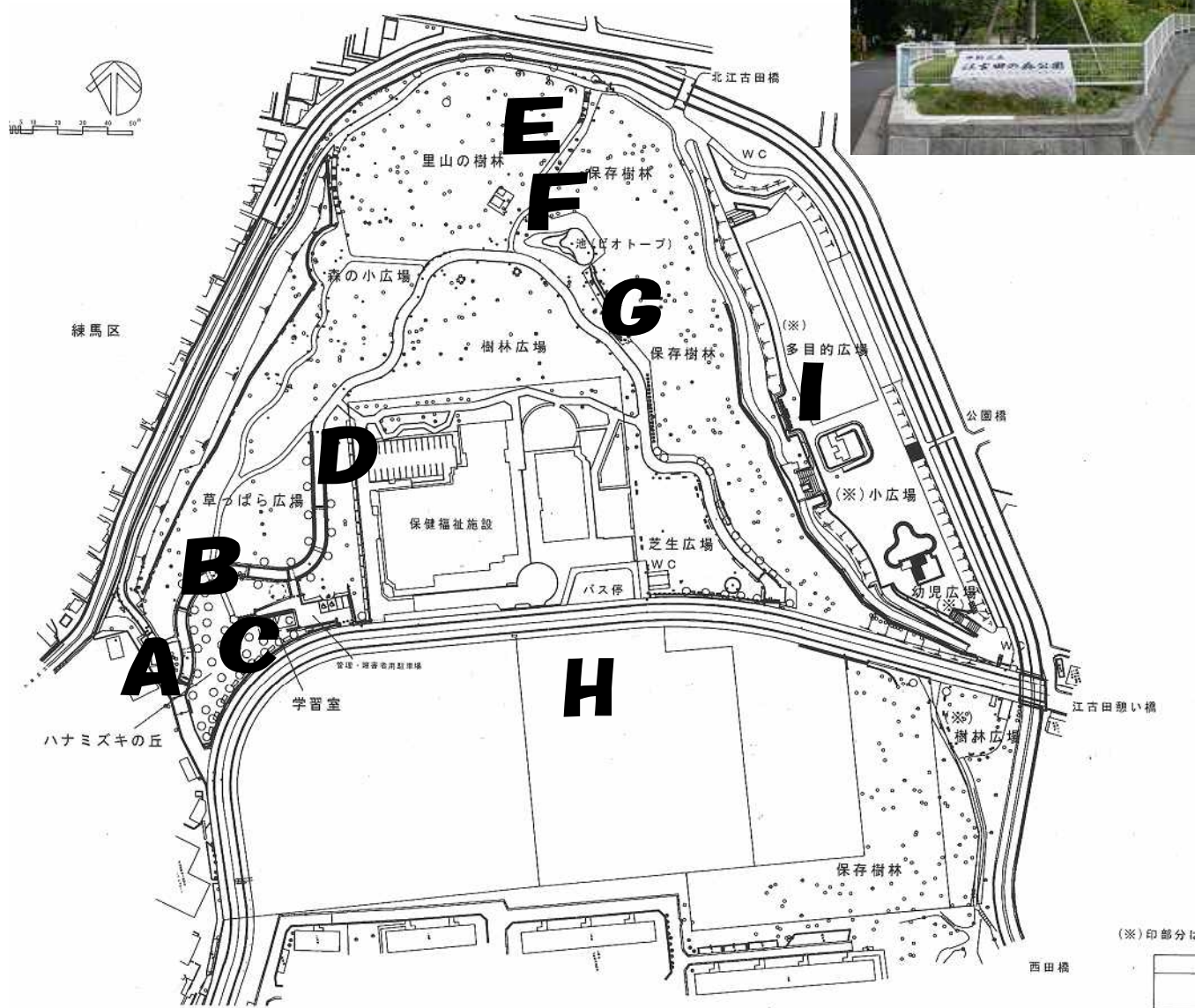
*** 練馬すすしろの道** 江戸時代、練馬大根を江戸の町まで運んだ道といわれています。すすしろとは、大根のことで、春の七草のひとつです(問題1に関連)

- * 誰でも楽しく歩いて、歩く事を通じて東京を知る事ができる目的でできた「歴史と文化の散歩道」23コースの中の一つ。「中野・石神井コース」になっています。
- * 歴史民俗資料館から練馬区の中村橋まで続いています。
- * 江戸時代、徳川綱吉の元禄年間(1688~1704)以降、練馬大根は練馬の名産品になりました。中野の鷲宮でも練馬大根を作っていたそうです。
- * 練馬大根は沢庵漬けに適した大根です。昭和の始め頃まで、ナマのまま漬ける「おっぺし漬け」が特産品となって、中国にも輸出されていたそうです。
- * その後、病気がはやって大根がみんなダメになってしまいました。(練馬ではキャベツ畑と宅地化が進む)今は、練馬区の農家の方が、練馬大根を復活させて、毎年12月に収穫祭を開いています。
- * 春の七草はセリ、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すすな、すすしろ



* アンネのバラ ベタニアホームの庭に、アンネフランクの父親から送られた平和を願う「アンネのバラ」が植えられています。

2、江古田の森



A 「街路樹の森 - 木の保育園」

* 中野区内で一番緑の多い公園です。

中野区内で幹の周りが 350 cm以上の巨木が 36本ありますが、そのうち 6本がこの公園にあります。ケヤキ、ユリノキ、クスノキなどの大きな木があります。

* この森に木の保育園がありました。明治時代の終わり頃に、東京じゅうの道路に 5万本の街路樹を植える計画があり、10種類の木を外国から取り寄せ、この江古田の森にあった「野方苗圃」で育てられました。木の保育園のようなものです。銀座の柳の原木もここに 있습니다。(10種類はユリノキ・スズカケノキ・いちよう・アオギリ・トチノキ・トウカエデ・エンジュ・ミズキ・トネリコ・アカメガシワ)です。それまでにあった、サクラ、柳を加えると 12種類になります。銀杏は、秋には銀杏

が拾えるそうです。

B

「ハガキの木」

- * はがきの木と呼ばれている「タラヨウ」です。インドでお経を書くときに使った「タラジュ」に似ているので、そう呼ばれています。葉っぱの裏に字がかけます。燃えずらいので、神社や家の周りに植えて、防火壁にしていたそうです。中国ではお茶として葉っぱを煎じて飲むそうです。
- * 昔はタラヨウの葉に文字を書いて切手を貼ってポストに入れると、そのまま葉書として使えましたが、最近ではヨコ9センチタテ14センチ以上ではないと、郵便局では受け付けてくれません。(関連問題2)

C

「ハナミズキの丘」

- * 大統領夫人がポートマック公園を作る際に、日本の桜の美しさに感動して、桜を植えたいという計画を立てていたそうです。
- * 日露戦争の終わった頃1912年、アメリカの仲立ちによって、大国ロシアに勝てた事もあって、お礼の意味で、東京市の市長尾崎行雄が3千本の桜の苗をアメリカに送りました。(問題3に関連)
- * 6年後(1915年)に桜のお礼としてアメリカハナミズキが送られました。(白40本、赤13本)(残念ながら原木は失われてしまったようです)
- * ハナミズキの花言葉は《忍耐・長続きする・永遠》です。
キリストが処刑されたときに使われた木といわれています。ハナミズキは罪深い自分を恥じて、二度と処刑に使われないように小さな木になり、四枚の花びらは十字架の形になったといわれています。
- * この野方苗圃にもハナミズキの原木が植えられていたことを記念して、江古田の森公園が開園した記念に植樹されました。

D

「中野療養所」がありました。

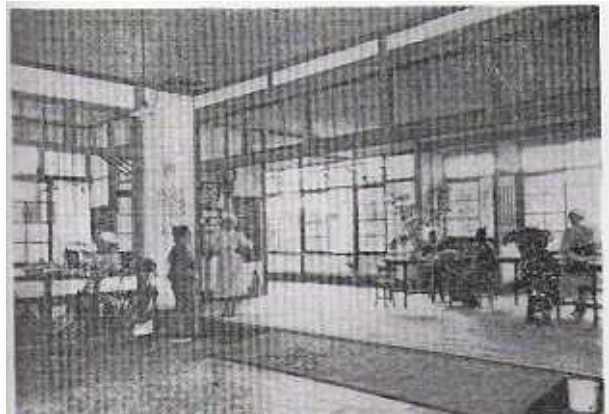
- * 今から約90年前、ここには、結核の病気にかかった人が入る、結核療養所がありました。(関連問題4)

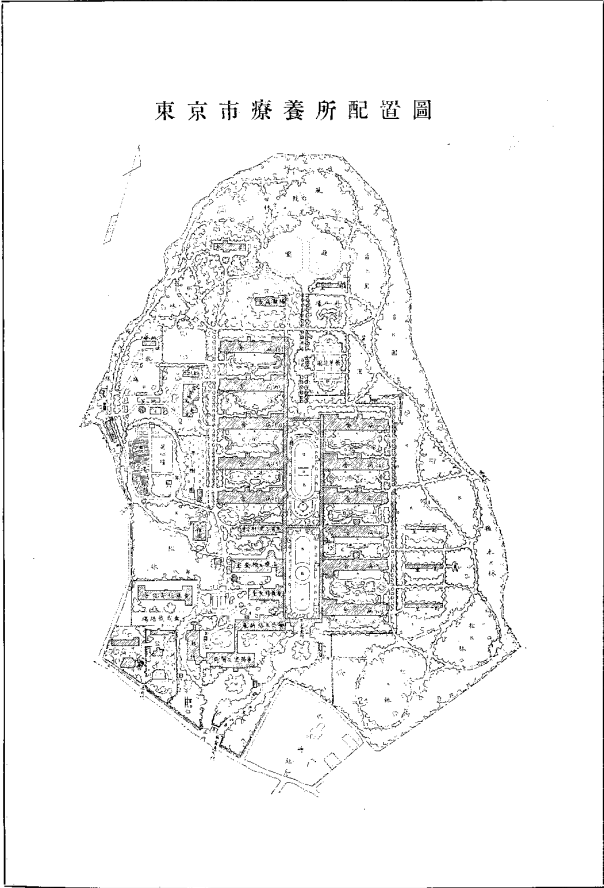
* 明治時代から昭和20年まで、死亡する病気で1番多かったのが「結核」です。国民病といって、大変恐れられていました。

- * ツベルクリン反応とか、BCGは聞いた事がありますか？

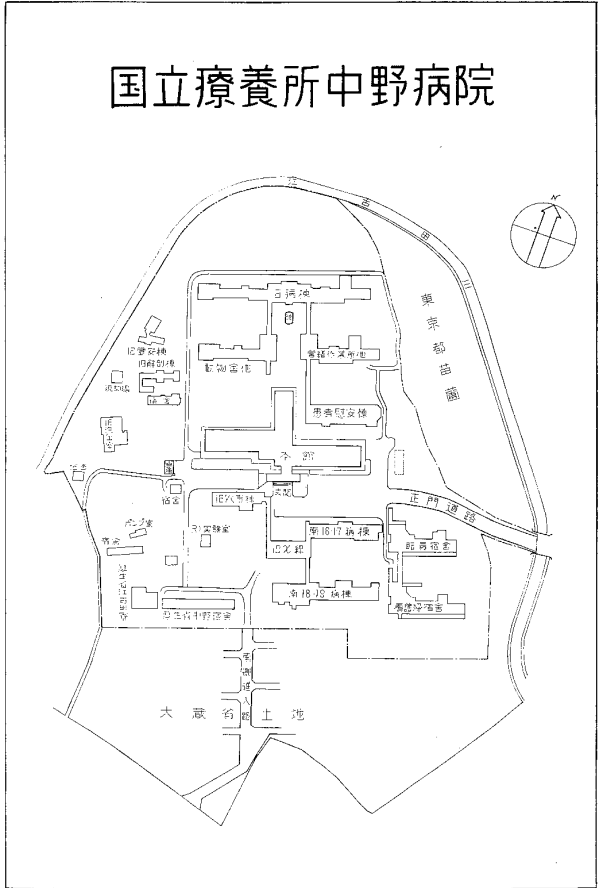
これは、結核の病気の予防として行なわれています。

今は治療する薬も開発されていますが、昔は栄養をつけて、静かにしているしか方法がありませんでした。

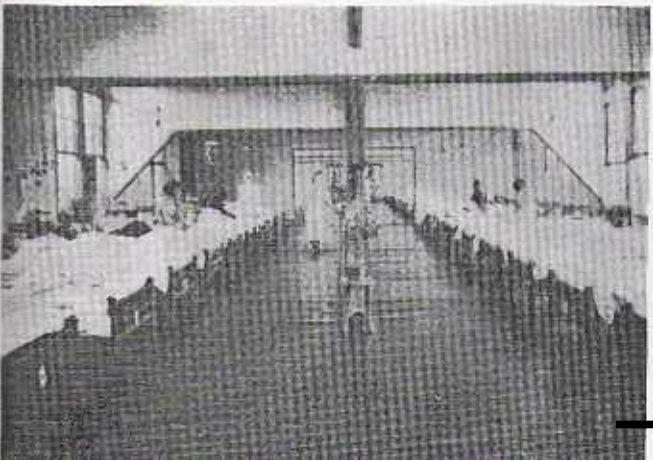
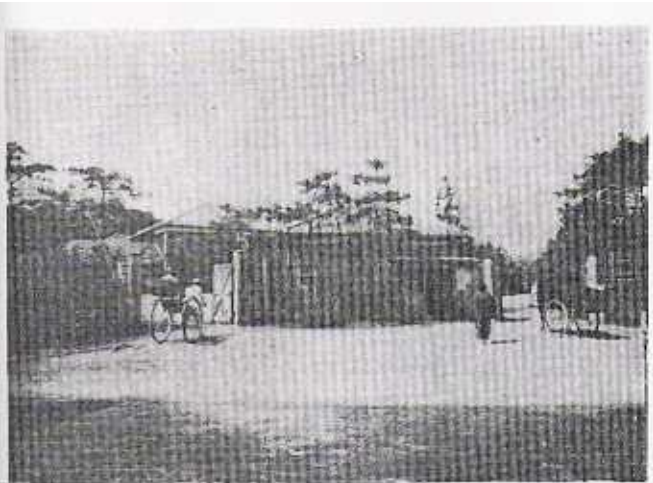




創立当時の配置圖 (原図のまま登載)



現在の配置圖



- * 大正2年(1913年今から95年前)この山で採れた松ノ木を明治神宮を作るときに奉納し、こんなに立派な木ができるくらい、空気のきれいな所なら良いだろうと、大正9年1920年結核の療養所になりました。
- * 農園や、牧場などもありました。(地図を見せる)
その後「国立中野療養所」となり、平成5年(1993年)に閉鎖、平成7年に解体

E

「縄文土器」

- * 今から5千年前、縄文時代の中期から後期、ここの山には村がありました。土器などがたくさん発掘されています。
- * 見つかる縄文土器の特徴は、縄の跡があったり、使われている土に不純物がたくさん混じっています(関連問題5)。雨の日の跡などに見つけやすいようです。後で、歴史民俗資料館に実際発掘されたものが飾ってあるので、自分の拾ったものと比べてみてください。
- * 見本を見せる・探す時間1分間)

F

「江古田の森シンボルの木」

- * 「ふくろうの木」と親しまれている木です。あおぎりという木です。選ばれた街路樹のひとつです。
- * 樹齢は90年ぐらいです。木の枝が落ちた跡が目のようにになっています。

G

「ホタル」

- * この公園の自然環境を復活させる試みとして、昨年から、ホタルの人工飼育を始めています。今年は5月20日に、江古田の森公園ビオトープ池の下流の流れに飼育小屋を設置し、ヘイケホタルの幼虫を1000匹放流しています。
- * ヘイケほたるは淀んだ水でも生きる事ができるそうです(関連問題6)。昨年は6月25日から7月17日にホタルが50匹ほど飛んでいるところを確認されました。
- * なお、幼虫の観察や成育場所の整備につきましては、江古田地域の老人クラブや有志の方38人協力しているそうです。毎日交代で、ビオトープ、飼育小屋の観察、幼虫の上陸の様子、数の観察、毎日の気象、気温の記録をおこなって、ホタルの成育を見守っているそうです。(関連問題7)

- * 鳥もたくさん来ます。

よく観られるのは、みんなが知っている、カラスやすずめの他に、ムクドリ、シジュウカラ、ヒヨドリ、コゲラ・キジバト、オナガ、メジロ、です。

ムクドリ

(くちばしが黄色い)



「防災公園」

* 東京都の広域避難場所（中野区内10箇所）のうちの一つとして、災害時には約59,000人が避難することになっています。

* でも、もしそれだけの人が非難したら、一人当たり、1メートル四方もありません。

* 防災用井戸、貯水槽があります。飲み水100tが貯えられています。

* 仮設トイレ マンホール直結型トイレ

18基（いつもは池に放水している井戸水を、災害時には水洗トイレとして下水に流すようにするそうです。）

16基 貯水槽の上の仮設トイレ（防火水槽として貯水してある水を使った後にはトイレの汚水槽として使うそうです。）



さて、マンホール直結型のトイレ、足したら、34基あります。

* ベンチは何か仕掛けがあります。为什么呢？

上部・側面の板を外すと、炊き出し用のかまどになっています。

* 園内灯 災害の時、電気が無くても発光する誘導灯として機能するそうです。上についているのは太陽電池かな？

* お茶の木 明治時代、江古田ではお茶の木がたくさん植えられ、茶畑がたくさんありました。関東大震災（1923年）以降は、狭山茶におされて次第に無くなっていきました。

* 公園の開園を記念してお茶の木が植えられていますが、だいぶ枯れてしまっています。

H

「遺跡発掘！」

*（出口を出て、向かいの学校のカマボコ型の体育館のあたり）

2003年から遺跡調査があり、建物の柱のあとや、井戸などが見つかっています。

* ここは昔から「寺山」と呼ばれ、伝説のお寺「江古寺（えごでら）」があった

といわれていました。江古寺は500年前に太田道灌と豊島氏との戦いがあったと

きに、燃えてなくなってしまったと言い伝えがありました。調べてみると実際に

お寺がらしいと思われるものがいくつも見つかりました。（関連問題10）

I

「旧北江古田公園」

* 先ほど説明した、木の保育園「野方苗圃」がありました。島のように木が生えているところが、昔の地面の位置です。

- * 掘り起こしたところ 4500 年前の縄文時代の土器や耳飾、編んだかごなどがみつかっています。また、その時の地層をそのままココに残しています。同じものは歴史民俗資料館にもあります。

* この地層は、「江古田植物化石層」と呼ばれ、直良信夫博士によって発見されました。日本における氷河期があったことを示す貴重なものです。(関連問題 8)

- * このプレートには今、何もついていませんが、実は、以前何度も、汚されたり、壊されたり、放火されたりして、現在は修復する予算も無くて放置されている状態です。

- * 現在では、大雨が降ったときに江古田川の水をためる調整池になっています。水をためて使った後は、全てを消毒し、砂や土をもう一度しきなおしたりしています。

昨年度(20年度)は3回水の流入がありました。19年度は一度もありません。(関連問題 9)」

やはりゲリラ豪雨が多くなってきたのでしょうか？

3、お経塚

- * 今から 500 年ぐらい前、大田道灌と豊島一族が戦ったあと、新青梅街道の哲学堂から野方のほうまでいったいに、戦死した人たちを埋めた場所がいくつか残っています。この場所も、「豊島塚」のひとつとも言われています。
- * あるいは、東福寺の火事で焼けたお経を埋めたところともいわれています。
- * 大正時代にここに児童遊園を作る工事の時に、人骨やお経が入っていたと思われ筒が見つかったことから、お経塚と呼ばれています。

4、歴史民俗資料館

- * しいの木は何年ぐらい？500年(太田道灌が戦った頃?)区の木にもなっています。
- * 歴史民俗資料館は20年前に出来ました。この場所はテニスコートでした。
- * 北江古田公園で発見されたものが展示されています！

催し物案内

- * 岩淵さんのコレクションした郷土玩具(6月28日まで)
- * 岩淵さんの集めた資料「この人をみよ」11月17日~12月27日

江古田の森の植物についてもっと知りたい!人は

「森の学級」が毎月開かれています。10時に学習棟に集合。無料

7月5日(日)・8月1日(日)・9月27日(日)・10月25日(日)・11月29日(日)・12月13日(日)・1月24日(日)・2月28日(日)・3月14日(日)